

■SGS化学物質管理 セミナースケジュール

2022年4月18日

形式	開催予定日	セミナータイトル	予定時間	受講料(税別)	募集人数	内容	受付状況
ウェビナー Zoom	2022年4月22日(金)	各国RoHS -中国、サウジアラビア、UAE、オマーン等	13:30~15:00	10,000円/1社4名様まで ※5名様以上別途	50名	RoHS規制が、EU以外の多くの国で発効されています。中国、UAEはもとより、サウジアラビア、オマーンも規制の発表がありました。各国の規制は、EU RoHSを基に、独自の内容を定めています。中国、UAEのRoHS規制とともに、2022年から始まるサウジアラビアのRoHS規制の内容を解説いたします。また、オマーンのRoHS規制の情報も触れる予定です。 ※品質管理の実務者や管理職など経験社向けとなります。  <b>お申込はこちら:</b> <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_wPfn_xoTNWnvJ3ydNH2HQ">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_wPfn_xoTNWnvJ3ydNH2HQ</a>	募集中
ウェビナー Zoom	2022年4月27日(水)	法規制入門編①: 欧州REACHの概要	13:30~14:30	無償 /1社2名様まで	300名	お客様のご要望を受け、入門編を開致しました。 RoHSは対応経験があるが、最近、REACHの間合せが増えた。そもそもRoHSと何が違う？ 調べてもベテラン向けの説明ばかりでよく分からない…とお困りの方へ、概要と要求事項、違反した場合のリスクや最新動向をご説明致します。 所要時間は1時間と、新任者への導入研修の一貫としてご利用頂きやすくなっております。  <b>お申込はこちら:</b> <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_aUWpYZtTLmWko2CIYa0wg">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_aUWpYZtTLmWko2CIYa0wg</a>	募集中
ウェビナー Zoom	2022年5月25日(水)	法規制入門編②: 欧州RoHSの概要	13:30~14:30	無償 /1社2名様まで	300名	「RoHS適合品をください。証明書も必要です。」いきなり言われたけど、RoHSってそもそもなに？という方へ。 規制の概要、自社製品や材料のどんな所に注意が必要か、問合せでよく聞かれる単語の説明など、短時間でご説明いたします。 ※4/22開催と比べて、初心者向けの内容となります。新入社員や新任者の皆様向けの内容となります。  <b>お申込はこちら:</b> <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_6U2D4MFFTJyT0dOnck1P8A">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_6U2D4MFFTJyT0dOnck1P8A</a>	募集中
ウェビナー Zoom	2022年5月27日(金)	フッ素化合物に関する法規制と動向	13:30~15:00	10,000円/1社2名様まで	100名	ヘルフルオロアルキル物質およびポリフルオロアルキル物質(PFAS)の規制が急速に広がっています。近年では一部の物質がストックホルム条約や欧州REACH、アメリカTSCA法、州法、日本では化審法で規制されています。具体的な物質は、PFOA、PFOSだけではなくPFHXS、PFHXA、C9-C20のPFCA類まで提案され、今後PFAS類の広範囲な多くの物質に及ぶと予想されます。このように対象物質が多く、対応に悩む企業が多いのも特徴です。各国法規制の最新動向とその対象物質、含有リスクの高い用途などをご紹介します。  <b>お申込はこちら:</b> <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_kRSK5kVWQXOQcTmE4Q_ATw">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_kRSK5kVWQXOQcTmE4Q_ATw</a>	募集中
ウェビナー Zoom	2022年6月10日(金)	化学物質管理③ TSCAおよびプロポジション65対応と 分析サービスの紹介	13:30~15:00	10,000円/1社4名様まで ※8名様以上別途	50名	米国TSCAのPBT 5物質の禁止が米国のみならず日本でも業界を騒がせています。2021年9月、EPA は、PIP(3:1)に関する発効を、2024年10月まで延長すると発表しました。本PBT規制の概要を最近の状況を含めて解説いたします。 一方、プロポジション65は、米国カリフォルニア州で制定・運用されている法律です。ただし、米国市場での製品販売には、実質的に避けては通れない規制となっています。特異な規制のため、新たな視点での理解が必要です。本規制の概要と対応について、解説いたします。 さらに、両規制についてのSGS提供サービスをご紹介します。  <b>お申込はこちら:</b> <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_MFzF7wv2SPWc1MmoXgZ51g">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_MFzF7wv2SPWc1MmoXgZ51g</a>	募集中
ウェビナー Zoom	2022年6月15日(水)	化学物質管理① 素材ごとの含有リスクとRoHS対応の効率化	13:30~15:30	50,000円/1社1名様 ※追加1万円/人となります	30名	もしかして鉛やカドミがどこかに入っているかも…心配したら切りがないのがRoHS対応。でも、それらが使われるには理由があります。 理由が分かれば気にするポイントが絞り込め、効率的、効果的な運用が可能になります。 効率的な含有検証を目的に作成されたIEC 62321 Part 2 の作成メンバーが、各物質ごとに具体的に解説します。  <b>お申込はこちら:</b> <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_oXfzvVBkQycX5R7Wyx0MA">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_oXfzvVBkQycX5R7Wyx0MA</a>	募集中
ウェビナー Zoom	2022年6月22日(水)	化学物質管理② IEC 63000 を実務展開するための 含有リスクアセスメントのノウハウ	13:30~15:30	50,000円/1社1名様 ※追加1万円/人となります	30名	EU RoHSにおけるCEマーキングのための引用規格である IEC 63000 は、リスク推定に基づく効果的・効率的な製品含有化学物質の管理を推奨しています。 しかし、4.3.2項の "Determine the information needed" は、文章が短く表現も抽象的なため実務にどのように反映させたら良いのか悩ましい部分です。本セミナーでは、リスクに応じたメリハリのある運用を可能とするため、サプライヤのリスクや調達部材のリスクをどのように評価・特定するかについて実践的なノウハウをご提供いたします。  <b>お申込はこちら:</b> <a href="https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_CIB7n9NDSjWPLTYswyeXKA">https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_CIB7n9NDSjWPLTYswyeXKA</a>	募集中